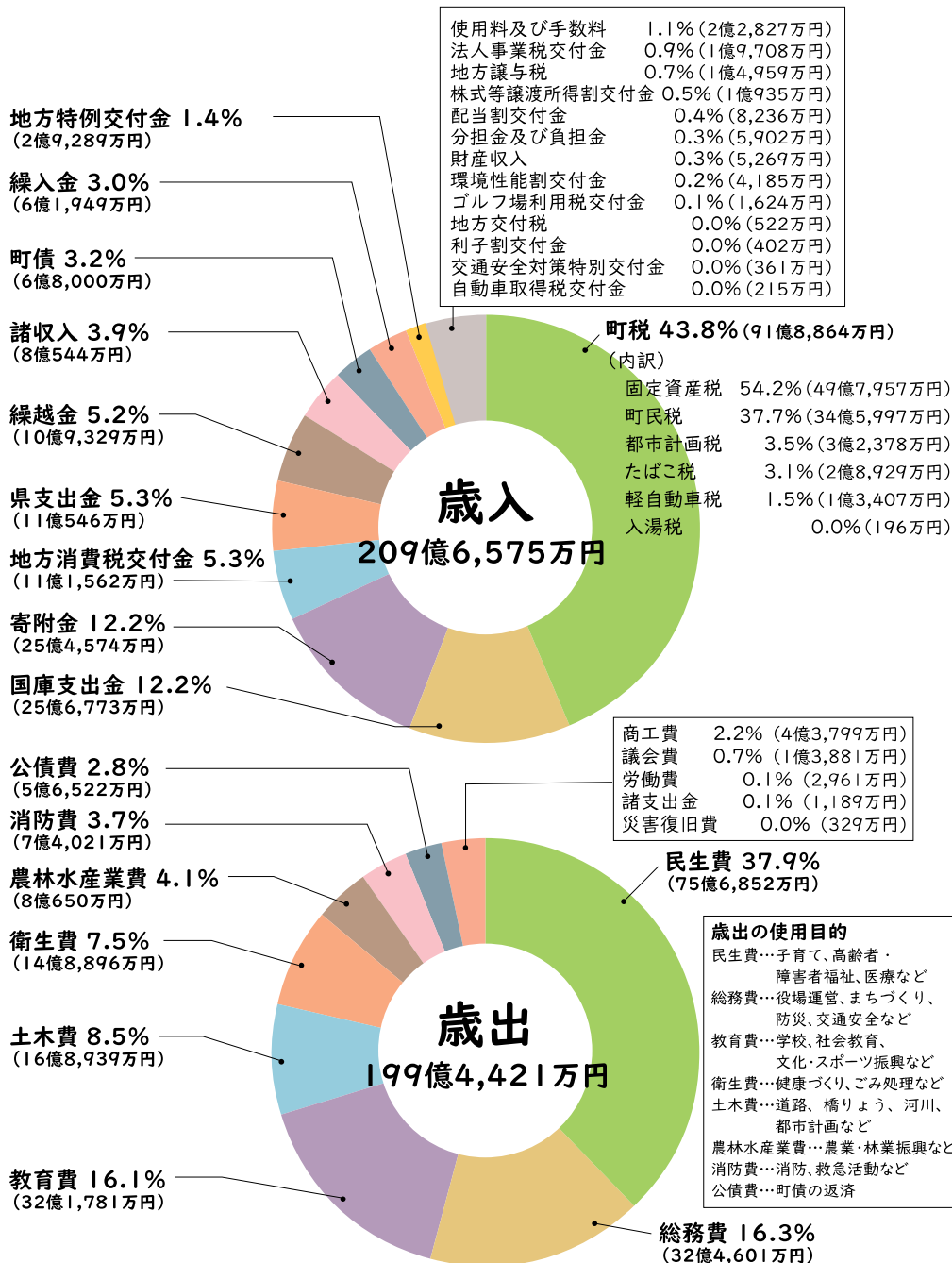


令和6年度決算報告と町の財政状況

わが町のお金の使い方

一般会計



皆さんが納めた大切な税金や国・県からの補助金は、まちづくりにどのように使われたのでしょうか。

令和6年度の決算の概要と町の財政状況について、「えこたん」の解説を交えてお知らせします。

えこたんの解説



令和6年度は令和5年度と比べると歳入歳出ともに若干増えたよ。その中では、合併70周年を記念して、講演会やコンサート、スポーツイベントなどがたくさん行われたよ。一方、海外情勢による影響から物価高騰を受けた年だったけど、国・県からの補助金を使いながら給付金の支給が行われたよ。

そのほかにも、幸田町の明るい未来に向けて、さまざまな事業が行われたよ。

子どもの増加で教室が不足する深溝小学校の増築をしたり、災害時には避難所となる中学校体育館に空調設備を整備して安全な学習環境を確保したり、六栗地区に環境広場を作ったよ。

また、合併70周年を記念して、町をロケ地とした記念ドラマの制作や町民の皆さんが地元のお店で購入できるように生活応援チケットを配布したよ。

一般会計のほかには、4つの特別会計と2つの公営企業会計があるよ。特別会計は、特定の事業のために財布を分けて管理する会計なんだって。公営企業会計は水道事業会計と下水道事業会計のことで、町の水道事業と下水道事業はここで運営されているよ。町の大事なお金はみんなの安心した暮らしのためにこうして役立てられているよ。

決算状況

会計名			歳入(a)	歳出(b)	差額(a)－(b)
一 般 会 計			209億6,575万円	199億4,421万円	10億2,154万円
特別会計	土 地 取 得 特 別 会 計		1億730万円	1億730万円	0万円
	国 民 健 康 保 険 特 別 会 計		31億9,081万円	31億8,319万円	762万円
	後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計		6億5,296万円	6億5,231万円	65万円
	介 護 保 険 特 別 会 計		25億2,776万円	24億7,807万円	4,969万円
公営企業会計 (税抜き)	水道事業会計	収益の収支	8億2,370万円	6億8,556万円	1億3,814万円
		資本の収支	1億31万円	5億5,146万円	▲4億5,115万円
	下水道事業会計	収益の収支	15億3,154万円	15億2,174万円	980万円
		資本の収支	4億9,444万円	6億5,102万円	▲1億5,658万円
総 合 計			303億9,457万円	297億7,486万円	6億1,971万円

目的税と交付金・譲与金の使い道

*「充当額」とは、その目的のために使った金額のことをいいます。

都市計画税

目的	事業費	充当額
道路新設改良	7,402万円	1,748万円
土地区画整理	5,082万円	3,942万円
公共下水道	3億4,400万円	2億6,688万円
合計	4億6,884万円	3億2,378万円

地方消費税交付金（社会保障財源分）

目的	事業費	充当額
社会福祉	42億1,943万円	3億2,772万円
児童福祉	33億4,910万円	2億2,206万円
保健衛生	7億618万円	6,919万円
合計	82億7,471万円	6億1,897万円

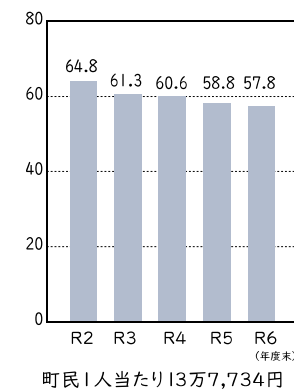
入湯税

目的	事業費	充当額
観光	8,644万円	197万円

森林環境譲与税譲与金

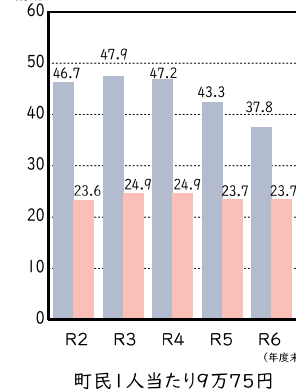
目的	事業費	充当額
林業振興	2,571万円	749万円
小学校整備	117万円	34万円

町債残高の推移 (全会計の合計額)



借金（町債）の残高は57億8,223万円です。道路や学校などの長期間利用する施設を造るときには、一度に多額のお金が必要です。このお金を関係機関から借りて財源とするのが町債です。町債は町の借金ですが、これを適切に活用することで、建設負担を現世代と将来利用する世代とで公平に分けあうことができます。

基金残高の推移 (朱色は財政調整基金)



令和6年度末の貯金（基金）の残高は約37億7,556万円です。町では、大幅な税収減や災害などに備える「財政調整基金（約23億6,936万円）」をはじめの基金を積み立てています。

貯金と借金

財政状況を家計に例えてみると？

令和6年度の一般会計決算額について町民1人当たりの金額を計算し、皆さんになじみやすい家計項目に例えてみました。

収入

給料(町税など)	34万7,732円
親からの援助 (国・県支出金など)	13万5,665円
ローン(町債)	1万6,204円
合計	49万9,601円

支出

食費(人件費)	10万5,005円
医療費(扶助費)	8万1,793円
ローン返済(公債費)	1万3,469円
光熱水費(物件費)	10万4,708円
自宅の修繕(維持補修費)	7,837円
町内会費や募金(補助費等)	5万6,506円
貯金(積立金)	2,171円
投資や運用 (投資及び出資金、貸付金)	7,623円
仕送り(繰出金)	3万2,118円
自宅の増改築 (普通建設、災害復旧費)	6万4,029円
来年度に支払うお金(繰越明許)	4,451円
繰越金(実質収支)	1万9,891円
合計	49万9,601円

えこたんの解説

家計と町の財政ではお金の使い方も規模も違うから単純には比べられないけど、こうして眺めると感じがつかめるね。

この先も、住む人みんなが幸せを感じられる町でいられるように、お金を大切に使うことが重要だよ。



町民一人当たりの金額は、令和6年度の一般会計決算額を総人口41,965人(令和7年3月31日現在の住民基本台帳人口)で割ることにより計算しました。

健全化判断比率と資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、町の令和6年度決算に基づく「健全化判断比率」と「資金不足比率」をお知らせします。

4つの指標で厳しくチェック 健全化判断比率

全国の地方公共団体は、毎年度の財政状況を統一的に確認するために、4つの財政指標である「健全化判断比率」を公表することが義務付けられています。これらの指標の一つでも早期健全化基準を超えた場合はイエローカード「早期健全化団体」となり、財政状況を改善するための計画を作らなければなりません。町は、いずれの指標も基準を下回りました。

4つの指標	健全化判断比率	基準値
実質赤字比率	—	13.23%
連結実質赤字比率	—	18.23%
実質公債費比率	0.7%	25.0%
将来負担比率	—	350.0%

*「—」の項目は黒字のため、数値が計上されていません。

赤字はありませんか 資金不足比率

「資金不足比率」は、公営企業会計における料金収入に対する資金不足額(赤字額)を確認する指標です。経営健全化基準を超えた場合は、経営を健全にするための計画を作らなければなりません。町には、資金不足を生じた公営企業会計はありませんでした。

公営企業会計	資金不足比率	基準値
水道事業会計	—	20.0%
下水道事業会計	—	20.0%

*「—」の項目は黒字のため、数値が計上されていません。

えこたんの解説



町は法律の基準を全部クリアしたよ。これからも健全な財政を心掛けていくよ。

決算審査報告

幸田町監査委員

大浦 裕
おおのうら ゆたか
まつもと ともき
松本 忠明

決算審査に付された各会計歳入歳出決算書などは、いずれも関係法令などに準拠し作成され、その計数は正確で、予算の執行はおおむね適正と認められた。財政指標の健全化判断比率などについては、健全な数値と認められた。

令和6年度決算は、町税全体で増収となったが、年々増加する義務的経費や公共施設の維持改修費、新規事業に要する経費など増加要因が多く、今後も予算を許さない状況が続くものと思われる。事務事業の必要性・有効性・効率性に視点を置いて、的確な予算配分などを含め、適正な公金の支出と事務処理に心掛け、町の発展のため、なお一層職務に精励されたい。

幸田町町村合併70周年記念式典



深溝小学校校舎増築



生活応援チケット

令和6年度の 主な事業

町民の皆さんの未来につながる
暮らしやすいまちづくりに
取り組みました



六栗ゲートボール場テント上屋設置工事



仲田ガード自動閉鎖機設置工事



消防ポンプ自動車

問合せ 財政課 財政グループ ☎(0564)62-1111(内線323) FAX(0564)63-5139